流し原稿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２１年２月１６日・埼玉県委員会

**メインスポット**

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

ご近所のみなさん、日本共産党です。緊急事態宣言が延長され、くらしと営業に重大な影響が広がっています。仕事や生活のお困りごとがありましたら、日本共産党までどうぞご相談ください。日本共産党は、国民のいのちと暮らしを守るために全力を尽くしていきます。

崩壊の危機に直面する医療現場を何として支えなければなりません。日本共産党は、医療機関への減収補てんと医療従事者への特別手当を支給するよう強く求めていきます。

◆埼玉県は、県管轄のすべての医療機関や高齢者施設で、集中的なＰＣＲ検査の実施を決めました。さらに障害者施設も追加されました。大きな前進です。

日本共産党は、学校現場の集団感染を防ぐため、さらなる検査の拡充を強く求めていきます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

時短営業の延長でいよいよ立ち行かなくなる飲食店が少なくありません。

日本共産党は、すべてのお店が営業継続できるよう、事業規模に応じた十分な補償を国に強く求めます。持続化給付金や家賃支援金の継続・拡充、第二弾の実施を引き続き求めます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

コロナ禍のなか、消費税を引き下げた国が５０カ国にのぼります。

日本共産党は、中小企業支援としても有効な、消費税の引き下げを強く求めます。

◆日本共産党埼玉県委員会は、ネット上で回答できる「新型コロナ緊急県民アンケート」に取り組んでいます。みなさんの不安や要望をぜひお寄せください。

【メインスポットを読む】

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

県内でも、学生向け食料支援に毎回、たくさんの人が訪れています。大学授業料の半額免除、給付型奨学金の拡充など、学生支援の強化を強く求めます。

◆大企業で働く非正規労働者が休業支援金を受けられない問題で、野党による国会追及によって昨年４月からさかのぼって申請できることになりました。

　日本共産党は、シフト制を理由とした労働者の「使い捨て」をなくすため力を尽くします。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

　日本でも世界でも感染収束の見通しが立たない中、この夏の五輪開催は中止し、コロナ対応に集中すべきです。開催の是非をゼロベースで再検討するよう政府に強く求めます。

【メインスポットを読む】

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

コロナ対策で無為無策を続ける菅政権では、国民のいのちと暮らしは守れません。

来る総選挙では、共産党の躍進と野党による政権交代で新しい政治を実現していきましょう。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

「桜を見る会」疑惑などのスクープ報道や多彩な記事が好評です。

くらしに役立つ「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひお読みください。